

# 第20回定期地本委員会を開催！

2月15日、JR東海労新幹線関西地本は、第20回定期地本委員会を「大阪市立市民交流センターひがしよどがわ」において開催しました。委員会は、山下副委員長の司会で始まり、議長に山嶋（大一運輸所分会）委員を選出し議事が進められました。

地本執行委員会を代表して、小林委員長が挨拶を行いました。委員長からは、「①安倍政権は、イスラム過激派組織による、日本人殺害事件を口実にテロを許さないということで、戦争の出来る国づくりを進めてきている。安倍政権の暴走をストップさせるために闘って行こう。②職場では、強権的な労務政策が展開されている。人間性を否定し、社員を追い込むやり方は許すことはできない。職場から声を上げて行こう。③2015春闘、ベースアップ、労働条件の改善に向け全力で闘って行こう。」と、委員会参加者に訴えました。そして、来賓として、本部の木下副委員長、高槻市の中浜市会議員、新聞うずみ火の矢野代表、地本OB会の中崎会長から連帯の挨拶を頂きました。



質疑では、「労働委員会の闘い」「ボーナスカット本人訴訟の闘い」「行政訴訟、最高裁勝利の闘い」「井戸掘削問題意思統一、車両所4分会合同集会開催について」「CMC関連会社団体交渉への闘いについて」「平和な社会を目指す市民・団体・労働者との連帯の闘い」「職場諸要求について」など12名の委員から発言がありました。委員の発言を受けて、各部答弁と本部の船出副委員長から感想、畑野書記長の「ベースアップは全員一律要求で闘おう」「今、起きている問題を直視し、担当・関係箇所と連携をとって議論し進めて行こう」と総括答弁を行い、2015春闘を全力で闘うことを満場一致で確認しました。

## スローガン

**戦争の出来る国づくりと  
もの言えぬ職場づくりを許さず  
共に闘う仲間を拡大しよう！**